

概ね5年間で実施する取組(一覧表)

ソフト対策の主な取組	概ね5年間で実施する取組	目標時期	取組機関	行橋市		豊前市		羽田町		みやこ町		築上町		気象台		福岡県			
				実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期		
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組																			
【水害リスク情報の共有】																			
	想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	H30年度から順次実施	県														公表の要件が整った河川から、順次公表。	継続実施	
	河川管理者で作成された想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図等を基に、水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用への検討	H30年度から順次実施	市町	令和2年度、県が公表している洪水浸水想定区域図等を基に、ハザードマップの見直しを行った。ハザードマップについては、全戸配布し、ホームページに掲載している。	継続実施	L2洪水浸水区域の記載を含めたハザードマップを令和2年度に作成し、全戸配布を実施している。また、WEB版/ハザードマップを合わせて作成し、パソコン、スマートフォンからも閲覧可能。	継続実施	令和2年度公表した洪水浸水想定区域(L2)を元に、本町ハザードマップの全改正を行い、羽田町防災情報マップとしてまとめ、住民・企業向けに全戸配布に取り組んだ。	継続実施	県が作成する洪水浸水想定区域も踏まえ、洪水ハザードマップの作成・公表している。	継続実施	県が発表している洪水浸水想定区域(L2)を元に令和3年11月にハザードマップの作成しており、築上町のホームページに公表及び全戸配布を実施。	継続実施						
	市町村庁舎や災害拠点病院、要配慮者利用施設などへ防災情報や水害リスクに関する情報提供を行い、各施設の避難確保計画の策定、浸水防止対策等の検討を支援	H29年度から順次実施	市町、県	各施設の避難確保計画の策定等を支援している。	継続実施	要配慮者利用施設等の指定がある施設については、浸水想定区域等を考慮し、避難確保計画の策定を支援している。本年度、県事業を活用し、対象施設に対し説明会を実施し、避難確保計画策定促進を図る。	継続実施	福祉部局と連携した情報提供を行い、各施設の避難確保計画策定等の支援を行っている。	継続実施	要配慮者利用施設などに防災情報や水害リスクに関する情報提供を行い、各施設の避難確保計画の策定等を支援している。	検討中	要配慮者利用施設などに防災情報や水害リスクに関する情報提供を行い、各施設の避難確保計画の策定等を支援していく。	継続実施				関係市町村に対し、避難指示等の基準となる氾濫危険水位到達情報及び避難指示断水到達情報を伝達。	継続実施	
	過去の洪水に伴う浸水実績等の周知	H29年度から順次実施	市町、県	H29既に実施済みで、今後も継続して実施する。	継続実施	自主防災組織において、地区の危険箇所マップの作成また、地区防災計画の作成を支援し、地区の危険箇所の周知を図っている。	継続実施	広報紙をはじめ自主防災組織総会等で周知を図っている。	継続実施	印刷物、ホームページ等の活用による周知を行う。	検討中	印刷物などで周知を検討	検討中				平成30年度に周知。	継続実施	
【防災意識の啓発】																			
	防災意識向上と迅速な避難に役立つ「マイ防災マップづくり」を拡充	継続実施	市町、県	H29既に実施済みで、今後も継続して実施する。	継続実施	各地区の防災訓練実施の都、地区ごとの防災マップの作成を行っており、自主防災組織見直しと合わせ地区の防災マップ(マイ防災マップ)	継続実施	防災意識向上と迅速な避難に役立つ「マイ防災マップづくり」を拡充	検討中	防災意識向上と迅速な避難に役立つ「マイ防災マップづくり」を拡充	検討中	現在作成していないため、築上町防災会議等で協議していきたい。	検討中				市町村の検討・実施にあわせ、水位情報等の提供など支援を行う。	継続実施	
	防災意識向上と迅速な避難に役立つ「まるとまちごとハザードマップ」の整備	継続実施	市町、県	H29既に実施済みで、今後も継続して実施する。	継続実施	電柱及び避難所等に海抜表示を設置し、住民へ防災意識の向上を図っている。	継続実施	防災意識向上と迅速な避難に役立つ「まるとまちごとハザードマップ」の整備	検討中	防災意識向上と迅速な避難に役立つ「まるとまちごとハザードマップ」の整備	検討中	築上町の浸水深が分かるよう、まちなかの電柱等に海抜表示版を掲載しており、避難所に海抜の浸水深が分かるよう各避難所に設置している。	継続実施				市町村の検討・実施にあわせ、水位情報等の提供など支援を行う。	継続実施	
	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の実施	継続実施	市町、県、気象台	市独自で出前講座を実施している。	継続実施	防災全般において、地区、学校等において出前講座を実施している。	継続実施	町独自で行っている自主防災組織等への出前講座を継続し、併せて県・県の出前講座の活用を図る。	継続実施	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の実施	継続実施	今後、自主防災組織等に託すいき、県の出前講座の活用を図りたい。	継続実施	出前講座や学校で行う気象庁大雨ワークショップについて、予備士会の協力を得ながら継続すると共に、学校独自でワークショップが実施できるようコンテンツの改善および指導者の育成に取り組んでいる。			県民からの求めに応じ、随時、出前講座等を実施。	継続実施	
	住民の水防災意識啓発のための広報の充実	継続実施	市町、県、気象台	H P、市報等による啓発を実施。	継続実施	H Pや市報、回覧板等により啓発を実施	継続実施	出水期前に行っている町広報紙とホームページによる啓発の拡充をすすめる。併せて自主防災組織での自己啓発を支援する。	継続実施	住民の水防災意識啓発のための広報の充実	継続実施	水防災啓発時期において、築上町の広報紙に掲載している。	継続実施	報道機関に対し住民への普及啓発についての協力をお願いしている。気象台HPに防災気象情報の利活用に関する解説やリーフレット等を掲載している。			5月の水防月間等、機会をとらえて、充実を図っていく。	継続実施	
【リアルタイム防災情報の共有】																			
	警戒レベルに対応した防災気象情報の周知	継続実施	気象台															大雨時の「洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)」の活用について、各種会議、説明会、出前講座等により周知を図っている。	継続実施
	水害危険性の高い河川等のため、市町の役割等に係る河川などについて、水位計や水位標、河川監視カメラ等の設置を検討	H29年度から順次実施	市町、県	県と水位標や河川カメラの整備について検討している。	継続実施	県による水位計が市内3箇所を設置。氾濫の危険性の高い河川及びアンダーパスへ単独にて監視カメラを設置。また、山部部2箇所へ雨量計を設置し、リアルタイムな雨量の情報を提供し、避難情報等の判断基準としている。	R3~	白川の監視カメラや水位計の整備について、管理者である県と設置に向けて検討していく。	継続実施	県と水位標や河川カメラの整備について検討している。	検討中	県指定の河川については、水位計や水位標を県が設置している。今後、舟倉付近の河川について、県と協議していき水位標や河川カメラの整備について協議していきたい。	検討中					氾濫リスクが高い場所に簡易水位計や水位標、監視カメラ等を設置。	継続実施
【避難指示等の発令】																			
	避難指示等の発令に着目した水害対応タイムラインの作成を検討	継続実施	市町、県	令和3年度作成	継続実施	作成済み	継続実施	土砂災害、台風、洪水について、独自にタイムラインを作成し、町ホームページに掲載するとともに職員へ周知を行った。	継続実施	県西河川・ダムに関する避難指示等の発令に着目した水害対応タイムラインの作成	継続実施	築上町防災計画にタイムラインを明記している。また、築上町防災会議において随時見直しを行っている。	継続実施				洪水予報河川及び水位周知河川のすべての沿川市町村の水害対応タイムラインの作成を支援	継続実施	
	迅速かつ的確な防災体制が図れるよう、洪水時における情報提供(ホットライン)の構築を検討	H29年度から順次実施	市町、県、気象台	県や気象台からのホットラインも活用した、的確な避難指示等の発令について実施している。	継続実施	県土整備事務所長や気象台担当者からのホットラインを毎年登録し、的確な避難指示の発令が出来るよう連絡体制を構築している。	継続実施	県や気象台からのホットラインも活用した、的確な避難指示等の発令について検討している。	継続実施	県や気象台からのホットラインも活用した、的確な避難指示等の発令について検討している。	継続実施	自治体防災担当者および市長とのホットライン(24時間対応)を構築し、避難指示等発令判断に資する助言を行っている。	継続実施				洪水予報河川及び水位周知河川のすべての沿川市町村でホットラインを構築	継続実施	
【住民等への防災情報の周知】																			
	防災情報サイトの周知	継続実施	市町、県、気象台	ホームページや市報等による防災情報サイトの周知を図っている。	継続実施	防災ラジオ、豊前市防災情報メールの周知をHPやハザードマップ、地元説明会等で行っている。	継続実施	ホームページや印刷物等による防災情報サイトの周知を図っている。	継続実施	ホームページや印刷物等による防災情報サイトの周知を図っている。	検討中	今後、ホームページに情報サイトの周知を行ってみたい。	継続実施	大雨時の「洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)」の活用について、各種会議、説明会、出前講座等により周知を図っている。			協議会等、様々な機会をとらえて、周知を検討。	継続実施	
	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多量化)	継続実施	市町、県	ホームページ、市報、SNS、KBCテレビのdボタン等を活用して情報発信することにより、防災情報伝達の強化を図っている。	継続実施	HP、防災ラジオ、LINE、防災情報メールなど、多様化する情報発信に努めている。	継続実施	町ホームページとともに、Lアラートをはじめ緊急速報メール、SNS、防災情報等を発信することにより、防災情報伝達の強化を図っている。	継続実施	市町村ホームページとともに、防災無線戸別受信機を配布することにより、防災情報伝達の強化を図っている。	継続実施	築上町のホームページに掲載するとともに、防災無線(個別受信機)を交付し、防災情報伝達の強化を図っている。	継続実施				福岡県防災ホームページ、河川管理課ホームページ(福岡県河川防災情報)、防災情報提供アプリ・メール、県公式LINEやSNS等により、防災情報を提供。	継続実施	
【避難行動に繋がる訓練】																			
	避難指示等の発令に着目した水害対応タイムラインに基づく実践的な訓練	継続実施	市町、県	大規模災害を想定した机上訓練を検討。	検討中	タイムラインに沿った訓練を今後検討していきたい	検討中	大規模災害を想定した机上訓練を実施し、結果をタイムラインに反映している。	検討中	大規模災害を想定した机上訓練を実施し、結果をタイムラインに反映している。	検討中	大雨洪水等を想定した避難訓練等を実施し、県が示している水害対応タイムラインに沿った訓練を実施したい。	検討中				市町村の水害対応タイムラインの作成と並行しながら、実施を検討。	検討中	
	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	H30年度から順次実施	市町、県	洪水ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を検討。	検討中	令和3年度、国の事業を活用し、要配慮者利用施設及び地区の自主防災組織との避難訓練を実施	R3~	洪水ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を順次進めていく。	検討中	洪水ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を実施している。	検討中	ハザードマップを活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を検討	検討中				福祉部局等と連携し、市町村支援を実施	検討中	
	水害リスクが高い地域における住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	H30年度から順次実施	市町、県	洪水浸水想定区域に含まれる地域の住民を中心とした共同点検や避難訓練を検討。	検討中	コロナの影響により地区の防災訓練が出来ていない。令和3年度要配慮者施設との避難訓練と施設に隣接する地区の自主防災組織と連携し避難訓練を実施。	R3~	洪水浸水想定区域に含まれる地域の自主防災組織を中心とした共同点検や避難訓練を実施していく。	検討中	洪水浸水想定区域に含まれる地域の住民を中心とした共同点検や避難訓練を実施している。	検討中	洪水浸水想定区域に含まれる地域の住民を中心とした共同点検や避難訓練を実施したい。	検討中				市町村の検討・実施にあわせ、水位情報等の提供など支援を行う。	継続実施	
【河川監視情報の共有】																			
	重要水防箇所の共同点検	継続実施	市町、県	県と重要水防箇所の共同点検を行っている。	継続実施	県と共同点検を行っている。	継続実施	県や水防団、地元行政区の役員と協働して重要水防箇所の共同点検に行く。	継続実施	県や水防団、地元の住民とともに重要水防箇所の共同点検を行っている。	継続実施	県や地元の住民の方々とともに重要水防箇所の共同点検ができるよう、県と調整していきたい。	継続実施				重要水防箇所を公表し、毎年出水期前に河川管理者、水防団と合同で現地確認を行っている。	継続実施	
	河川監視で得られる堤防の状況や重要水防箇所に関する情報の共有	継続実施	市町、県	水防連絡会等の場を活用し、河川監視で得られる堤防の状況や重要水防箇所に関する情報を共有している。	継続実施	河川監視で得られる堤防の状況や重要水防箇所に関する情報を県と共有している。	継続実施	水防連絡会等の場を活用し、河川監視で得られる堤防の状況や重要水防箇所に関する情報を共有している。	継続実施	水防連絡会等の場を活用し、河川監視で得られる堤防の状況や重要水防箇所に関する情報を共有している。	継続実施	河川監視で得られる堤防の状況や重要水防箇所に関する情報を県と共有している。	継続実施				河川監視を行い、異常が発見された場合には、水防管理団体(市町)に知らせることとしている。	継続実施	
	重要水防箇所の広報の充実	継続実施	市町、県	市地域防災計画や水防計画に重要水防箇所を記載している。	継続実施	豊前市防災計画に記載している。	継続実施	町地域防災計画に重要水防箇所を記載している。	継続実施	市町村の地域防災計画や水防計画に重要水防箇所を記載している。	継続実施	町の地域防災計画に重要水防箇所を記載済	継続実施				重要水防箇所をHPに公表し、毎年出水期前に河川管理者、水防団と合同で現地の確認を行っている。	継続実施	
② 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・育成に向けた取組																			
【避難場所や避難経路の確保】																			
	想定し得る最大規模の降雨を想定し、隣接する市町、県、国等関係者が連携して広域避難計画及び避難場所などを検討	H30年度から順次実施	市町、県	協議会等の中で関係機関と連携し、広域避難計画及び避難場所等について検討する。	検討中	福祉避難所については広域避難所として対応して、今後、隣接する市町などの関係機関と連携し、広域避難計画及び避難場所等について検討する。	検討中	協議会等の中で関係機関と連携し、広域避難計画及び避難場所等について検討している。	検討中	協議会等の中で関係機関と連携し、広域避難計画及び避難場所等について検討している。	検討中	今後、隣接する市町、国などの関係機関と連携し、広域避難計画及び避難場所等について検討していきたい。	検討中				協議会等の中で関係機関と連携し、広域避難計画について検討	検討中	
	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	H30年度から順次実施	市町	協議会等の中で関係機関と連携し、避難所・避難経路の安全性確認及び見直しについて検討する。	検討中	協議会等の中で関係機関と連携し、避難所・避難経路の安全性確認及び見直しについて協議を行う。	継続実施	協議会等の中で関係機関と連携し、避難所・避難経路の安全性確認及び見直しについて検討していく。	検討中	協議会等の中で関係機関と連携し、避難所・避難経路の安全性確認及び見直しについて検討している。	検討中	築上町防災会議において、事務局より随時見直し提案を行っている。また、住民と協議を行い、避難所、避難経路の安全性確認、見直しを進めていきたい。	継続実施						
	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進(再掲)	H30年度から順次実施	市町、県	洪水ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を検討。	検討中	令和3年度、国の事業を活用し避難訓練を実施。今後も訓練内容を充実しながら継続予定。	R3~	洪水ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を順次進めていく。	検討中	洪水ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を実施している。	検討中	ハザードマップ等を活用した要配慮者利用施設等との避難訓練を検討	検討中				福祉部局等と連携し、市町村支援を実施	検討中	
【連携・協働、人材育成・発掘】																			
	出前講座等を活用した講習会の取組の実施(再掲)	継続実施	市町、県	市独自で出前講座を実施している。	継続実施	防災全般において、地区、学校等において出前講座を実施している。	継続実施	町独自で行っている自主防災組織等への出前講座を継続し、併せて県・県の出前講座の活用を図る。	継続実施	町独自で出前講座を今後行い、県・県の出前講座の活用を図る。	検討中	今後、自主防災組織等に託すいき、県の出前講座の活用を図りたい。	継続実施				県民からの求めに応じ、随時、出前講座等を実施。	継続実施	

概ね5年間で実施する取組	目標時期	取組機関	行橋市		豊前市		列田町		みやこ町		築上町		気象台		福岡県	
			実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期
あらゆる媒体を活用した地域住民の防災意識啓発のための広報の充実	H29年度から順次実施	市町、県気象台	フェイスブック、LINE等SNSを活用した情報発信を実施している。	継続実施	SNS(フェイスブックとLINE)を活用した情報発信を行っている。	継続実施	SNS(LINE)を活用した情報発信を行っている。	継続実施	フェイスブック等SNSを活用した情報発信を行っている。	継続実施	フェイスブック等SNSを活用した情報発信している。	継続実施	・気象台HPに防災気象情報に係るコンテンツを掲載し、防災知識の普及啓発を行っている。 ・コロナ禍でも大雨からの避難を学習できるツールとして、eラーニングを気象庁HPで提供している。	継続実施	協議会の中で地域住民の防災意識啓発のための広報の充実について検討	継続実施
関係機関と連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	H29年度から順次実施	市町、県	関係機関と連携した水防訓練を検討。	検討中	消防団等の関係機関と連携した訓練や、連絡体制、情報共有の強化を行っている。	継続実施	県との連携を受ける等により、大規模災害を想定した関係機関と連携した水防訓練に取り組んでいく。	検討中	関係機関と連携した水防訓練を実施している。	検討中	県上町消防団等の関係機関と連携した水防訓練や、連絡体制、情報共有の強化を行っている。	継続実施			協議会の中で関係機関と連携し、水防訓練、連絡体制、情報共有の強化について検討	継続実施
自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	継続実施	市町、県	各地区で自主防災組織の設立を支援している。	継続実施	自主防災組織と連携した防災訓練を実施している。 また防災士の資格取得助成を行い、防災リーダーの育成に努めている。	継続実施	各地区で自主防災組織の設立を支援している。	継続実施	各地区で自主防災組織の設立や地域防災リーダーの育成を支援している。	継続実施	町内の自主防災組織の設立支援している。 防災リーダーの育成・強化等については、今後促進していきたい。	検討中			自主防災組織リーダー研修会、避難行動要支援者の避難に関する研修・訓練、避難所運営研修・訓練を実施し自主防災組織の活性化と連携を図っている。	継続実施
【水防教育の普及・拡充】																
学校教育機関と連携した防災教育の取組として、総合学習を活用した出前講座等による防災教育の普及	H29年度から順次実施	市町、県	市内小・中学校より依頼があれば、総合学習の授業の中で防災教育を実施している。	継続実施	市内小学校の授業の中で防災教育を実施している。 令和3年度、12月2日防災体験学習を実施。 今後は教育委員会及び各学校と調整し、訓練、防災教室等を実施。	継続実施	町立小・中学校の総合学習授業の中で防災教育を実施している。	継続実施	町内小・中学校の総合学習授業の中で防災教育を実施している。	継続実施	放課後児童クラブなどに対して、積極的に防災教育を実施したい。 水防災についても同様に取り組んで実施していく。	継続実施			市内小学校へ福岡県防災教育副読本(小学校低学年用・高学年用)を提供するほか、求めに応じて、随時、出前講座等を実施。 毎年総合防災訓練を開催し、その中で必要に応じて小学校の防災訓練を実施している。	継続実施
新学習指導要領や国支援により作成された学習指導計画等を踏まえ、関係市町における学校の水防災学習に対する支援	H32年度から順次実施	市町、県	学習指導計画等を踏まえた関係市町における学校の水防災学習に対する支援を検討。	検討中	学習指導計画等を踏まえた学校の水防災学習に対する支援を行い、出前講座、防災訓練等を継続的に実施する。	継続実施	学習指導計画等を踏まえた学校の水防災学習に対する支援を実施していく。	検討中	学習指導計画等を踏まえた関係市町における学校の水防災学習に対する支援を実施している。	検討中	新学習指導要領や国支援により作成された学習指導計画等を踏まえて水防災学習の支援を実施していきたい。	検討中			市内小学校へ福岡県防災教育副読本(小学校低学年用・高学年用)を提供。	継続実施
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																
【既存施設活用等】																
現況の施設及び器材の情報を共有するとともに、国管理河川における先行事例の周知などを実施	H29年度から順次実施	市町、県	関係機関と大規模災害時の氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の作成を検討。	検討中	大雨が予測される前、事前にため池の水を落とすほか、田んぼガムの運用	継続実施	協議会等の中で関係機関と情報を共有し、周知方法などを協議していく。	検討中	関係機関と大規模災害時の氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画(案)を作成している。	検討中	現在周知できていないため、今後事例があれば周知していきたい。	検討中			共同巡回等を通じて、情報共有を進める。 国管理河川における先行事例について、協議会の場を活用して周知などを実施	継続実施
【水防資機材等】																
水防資機材の配備及び保有状況の確認、見直し	継続実施	市町、県	定期的に、水防資機材の配備及び保有状況の確認と見直しを行っている。	継続実施	関係課にて資機材を配備。	継続実施	定期的に、水防資機材の配備及び保有状況の確認と見直しを行っている。	継続実施	定期的に、水防資機材の配備及び保有状況の確認と見直しを行っている。	継続実施	定期的に、水防資機材の配備及び保有状況の確認と見直しを行っている。	継続実施			水防資機材を水防倉庫に備蓄し、不足することのないよう、補充・更新を行っている。	継続実施
ハード対策の主な取組																
■ 洪水を安全に流すための治水対策等																
堤防整備、河道拡幅・短縮、堤防の浸透対策、堤防天端の保護(舗装等)対策	継続実施	県、市													河床掘削、護岸、橋梁架設、堤改修等を実施。 堤防の浸透に対する安全性について調査している。	継続実施
■ 避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備																
的確な水防活動を実施するため、河川監視カメラや水位計等の設置を検討・整備	継続実施	市町、県	県と水防活動に必要と思われる箇所に河川カメラや簡易水位計の設置を検討。	検討中	市単独での水位計を設置しているが、既存の水位計以外の箇所にも県と協議し設置を検討していきたい	継続実施	白川をはじめ、水防活動に必要と思われる箇所に監視カメラや簡易水位計の設置を検討する。	検討中	県と水防活動に必要と思われる箇所に河川カメラや簡易水位計の設置を検討	継続実施	県と水防活動に必要と思われる箇所に河川カメラや簡易水位計の設置を検討	検討中			危機管理型水位計、河川監視カメラの新設を水位周知河川拡大の検討と併せて実施	継続実施
住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	継続実施	市町、県	住民にわかりやすい量水標の設置を検討。	検討中	住民にわかりやすい量水標を設置する(市内大の網橋に水位計を設置あり)	継続実施	住民にわかりやすい量水標を設置している。	継続実施	住民にわかりやすい量水標を設置する。	検討中	現在、築上町単独事業としての取組は無いが、今後協議していく上で設置依頼があれば、随時見直しや更新を実施していく。	継続実施			氾濫リスクが高い場所に水位レベル表示(量水標)を設置。	継続実施

住民への周知（洪水キキクルの活用）

【気象災害から逃れるために大切なこと】

- ① 周囲の隠れた危険（災害リスク）を知る。
- ② 迫りくる危険（気象災害）をいち早く知る。
- ③ 危険から逃れる行動（避難）を起こす。

キキクルは迫りくる危険をいち早く察知できる有効なツール！

防災講演会や出前講座で、警戒レベルに対応した防災気象情報の解説と併せて、キキクルの活用や入手方法について周知。

キキクルの通知サービス

災害から命を守るアプリ
Yahoo!防災速報

緊急地震速報も通知でお知らせ

iOS版
App Store からダウンロード

Android版
Google Play で手に入れよう



特務機関NERV防災

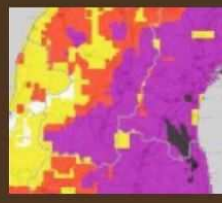
利用者に最適な防災情報を国内最速レベルで配信

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

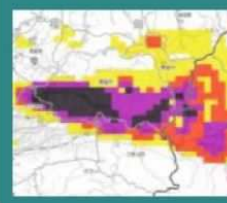


キキクル(危険度分布)の確認の仕方

土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



大雨による災害発生の可能性(危険度の高まり)が地図上で色分けして示される

黄:注意 レベル2相当 → 赤:警戒 レベル3相当 → 紫:危険 レベル4相当 → 黒:災害切迫 レベル5相当

黒を待たず 紫になるまでに避難の判断を！

いつ見る？

「この雨大丈夫？」と思ったとき、警報が発表されたとき

どうやって見る？

気象庁HP、各種スマホアプリなどで確認